



やつしろ桔梗 38.8×25.8



甘草と紫陽花 45.2×29.0



鳶 38.9×23.3



萩と露草 19.1×33.0



辛夷 45.2×29.0

市指定有形文化財（絵画）

- ・指定名称 秋田蘭画 <植物写生図>
- ・数量 10幅(紙本)
- ・指定年月日 昭和47年4月1日
- ・所有者 仙北市

佐竹北家に伝わっていた植物写生図10点である。いずれも署名もなく無款であるが角館佐竹北家6代佐竹義躬よしみの筆と伝わっている。

東北の山野に野生する花々を細密精彩に描写したもので、オランダの植物書にある挿図そうずに示唆されたものと思われる。これらの写生図は、義躬作品の「松こぶしに辛夷せうい図」や「岩いふように芙蓉つたに鳶つた図」、「岩いふように白百合しらゆりと紫陽花あじさい図」に生かされている。佐竹義躬は小田野直武と同じ年の生まれであり、角館の地で若い頃からの接触も考えられるし「北家日誌」の中に洋風画を通じた2人の関わりもみられる。「秋田蘭画」という新たな創造は、平賀源内という時代のプロデューサーにより、秋田藩士角館給人の直武から角館所預り義躬よしみそして藩主義敦よしかつ(号曙山)の3人によって曙光を放った。

今年、小田野直武・佐竹義躬 生誕260年となります。

※佐竹義躬(1749～1800)

- ・秋田藩角館所預り佐竹北家第六代父義邦の第1男として寛延2年(1749)5月4日生まれ
- ・名を義寛、後に義躬と改め、通称を太郎、四郎、後に河内、主計などといった。
- ・字は通大、号を雪松、一謙亭、嘯月亭、小松山人、俳号を素盈そえいと称した。
- ・明和6年(1769)に家督を継ぎ、寛永11年(1799)に長子義文ちやうしに家督を譲り隠居翌12年(1800)1月16日没す。